

TTC定例山行実施記録表 v.1

2013, 8, 28 報告者 渡辺悦子(1/2)

山行名	北アルプス 焼岳 (乗鞍岳の代替山行) [2444m 岐阜県・長野県]		
実施月日	2013年8月24日(土)～25日(日) 1泊2日 ハイエース利用		
天候/参加人員	天候:曇りのち雨のち晴れ レベル:★★ 参加人員:12名(男性6名、女性6名)		
パーティスタッフ	CL:計画: SL: 会計: 救護: カメラマン: 運転手: <span style="color:blue">スタッフ名削除</span>		
参加メンバ	(班長)、 (班長)、 <span style="color:blue">氏名削除</span>		
費用	<b>約20,500円(交通費¥8,963+宿泊費¥10,894+通信費・カンパ金等¥643)</b> ハイエースレンタル(@16,380x2) ¥32,760、燃料代(@130x(650+50)/5) ¥18,200、高速料金(相模湖-松本:ETC通勤割:@3,250x2) ¥6,500、安房トンネル通行料(往路¥650+帰路¥450) ¥1,100、駐車場(平湯大滝) ¥500、ドライブ-謝礼[18,000x2+宿泊加算¥2,000] ¥38,000 <b>20,500円</b> ドライブ宿泊費¥10,500/交通費計¥107,560/12~=@8,963、通信費¥1,000 栃尾温泉「おき乃」12名宿泊費+乾杯用ビール(@10,894x12) ¥130,722、ひらゆの森入浴料金(@500x12) ¥6,000/費用合計:¥245,282 集金@20500x12=¥246,000- (残金¥718をTTCカンパ金する)		
カンパ金	¥718		
ガトブック上	行動時間	歩行時間	休憩時間
計画	_____	7:55	_____
実行	9:10	7:55	1:15
	・代替山行のため計画時間なし。 ・小休止は歩行時間を含む。 歩行時間:(実行ガトブック) 1.000		
<b>実行コースタイム記録</b>			
◆8月24日(土) 天候:曇り(乗鞍高原から奥飛騨温泉郷に移動)			
中央高速道 / 仁-ス (散策:約20分) (散策:約30分)			
本厚木	相模湖IC	談合坂SA	諏訪湖SA
6:10	7:20	7:35~53	9:10~25
			9:40
			10:35~11:00
			11:07~35
昼食 (翌日の昼食購入) (散策等約50分) 三本滝レストハウス==JAおくひだ==平湯大滝==平湯BT==栃尾温泉「おき乃旅館」(泊)			
11:45~12:25	13:15-13:35	13:50-14:43	14:50-15:02
			15:20着
◆8月25日(日) 天候:雨のち晴れ(中尾温泉から焼岳往復:累積標高差(登り下りとも)約1200m/歩行距離10km)			
(林道ゲ-ト) 昼食			
栃尾温泉	中尾登山口	秀綱神社	中尾峠
5:50	6:04-15	6:54	7:50
		8:40	8:55-9:00
			9:35-45
			11:00~40
			12:30-40
(ひらゆの森入浴・食事)			
秀綱神社	白水滝	中尾登山口	平湯温泉
13:20	14:40-50	15:25-35	16:10-17:40
			18:45
			19:45-55
			21:17-22
			21:25
==本厚木-カ-前			
			22:30
<b>コースの概要、特記事項、反省事項 等</b>			
◆8月24日(土)			
厚木から12名を乗せたIドライブ運転のハイエースは小雨の降る中を出発。相模湖インターから松本、乗鞍へと向かい、談合坂、諏訪湖サービスエリアで休憩する。 今日の子定は二本の滝めぐりをしてシャトルバスに乗り換え、肩の小屋宿泊の予定・・・乗鞍で一番大きな滝、番所大滝めぐりは駐車場から散策路へと石の階段と鉄製の階段を下ること15分、あずまやのある展望台に立つと、滝がまじかに眺められるが、涼味満点の水しぶきがひどくて、マイナスイオンが一杯なのは嬉しいが、いつまでも居られない。滝の水が赤いのは水量が多いのと関係があるのは不思議でした。集合写真をとり同じ階段で帰りました。 次は善五郎の滝。駐車場より遊歩道があり、原生林の中のお散歩コースといった所。所々に水たまり、クマよけのドラム缶がぶらさげている。原生林の中を歩き、吊橋を渡り回り込むようにいくと滝の正面にでる。滝の前の橋を渡る			

と、板で作った見晴らし台がある。ここでも記念写真をとる。厚木での暑さが吹き飛んでしまうくらい水しぶきをあびた。残りの滝、三本滝は乗鞍岳からの帰りに立ち寄ることにして、シャトルバスに乗り換えるため三本滝レストハウスに向かう。車を降り昼食タイムとなる。時間も速いので一本早いバスを調べようと思い、パラソルの中で車を誘導しているおじさんに聞きにいくと、今日のバスは昨日3時ごろから降った豪雨で、乗鞍スカイラインの道路が土砂崩れし、今朝から通行止めで、すぐに開通する見込みはないとのこと。それでは「飛騨側のスカイラインは通行できますか？」と尋ねると、「飛騨側のスカイラインも通行止めです。」と言われがく然とする。私の頭の中はもう真っ白。とにかく何とかしなくては・・・と思い、SLとMさんに相談する。ドライバーの宿泊先のBELL鈴蘭と、我々が泊まる肩の小屋にキャンセルの連絡を入れなくてはと思い、携帯を開くと、BELL鈴蘭からは二度も電話が入っていた。

SLとMさんと、代替山行の目的地と宿泊先について話し合い、代替りの山は焼岳と決まった。次は宿泊先である。Mさんが以前に二度ほど宿泊したという中尾温泉望焼館に連絡すると、13名は収容不可とのこと。新穂高の観光案内所に問い合わせしてみたら・・・とのアドバイスをを受け、観光協会に連絡をとり何とか宿泊場所が決まる。中尾の登山口からは少々離れるが、栃尾温泉おき乃に決定する。時間もたっぷりあるので平湯大滝に行く。大滝公園になっていて、足湯や産直野菜などが販売されていた。3時過ぎたので今夜のお宿 栃尾温泉おき乃旅館に向かう。受付で朝食はおにぎりにしてもらおう。おにぎりは夕食の後配られる。

夕食は山小屋と違い、カラフルに名物の飛騨牛、子持ちあゆの塩焼きなどもろもろ。三人組の釣り人から20センチ以上もある岩魚を御馳走になる。天然の岩魚は新鮮ですごく美味しかった。どうもごちそうさまでした。

### ◆8月25日(日)

6時前に出発。天候は小雨。中尾温泉から林道終点近くのゲートまで走り、焼岳登山口の看板のすぐ近くまで車で運んでもらった。これで、通常のスタート点である中尾温泉のキャンプ場から歩き出すより、片道30分近く歩く時間が短縮できた。体操して出発する。雨はポツポツと降り始める。雨具を着けてスタートするが、とにかく暑い。林道から登山道に入り、脱ぎタイム/着タイムを繰り返しながら樹林帯の中を黙々と登る。

雨は途中で本降りとなり、このまま登り続けていいのか、下山しても早すぎて温泉はクローズだし、と自問自答しながら登る。苔むした岩、枯れた大きな木にもびっしりと苔が付いている。大きな岩穴の中にヒカリゴケが何箇所かみられた。天気がよかったらもっと綺麗だろうと思う。

独り言、とにかく10時ごろまで頑張ろう。白水の滝、秀綱神社に着き中尾温泉から5kmの看板があった。もう戻れない。山頂を目指し頑張ると、しばらくして中尾峠に着く。山頂まであと少し、最後の休憩を取る。時々雲が切れ、笠ヶ岳から連なる錫杖岳の岩峰や上高地の向こうに聳える六白山や霞沢岳の山々が見える。

頂上直下の急坂では石を落とさないように慎重に登る。山頂近くでは触った石が暖かい。黄色い硫黄の穴から噴気が出ているところもある。少し行くと北峰山頂に着く。山頂はガスっていて何も見えないが満足の一語です。「皆頑張ったね」と強く握手する。すごく嬉しかった。登ってきたことに感謝、皆様に感謝です。山頂は若い人、私たちのような人で一杯でした。風もなく40分ぐらい昼食タイムを取った後、下山にかかる。青空が覗き、薄日が差すまでに天候が回復してきた。私は独り言の様に思っていた事があり、今日は実行しようと思い、帰りはSLに先頭をお願いした。CLが何時も前では仲間の体調や体力が見えないだろうといつも思っていましたから。勝手な真似してごめんなさい。帰りも同じコースで中尾峠、秀綱神社、白水の滝と下山する。登りでは見えなかったのがよく見えたことと思いました。

帰りはMさんの推薦で平湯温泉「ひらゆの森」で入浴および早めの夕食とする。ひらゆの森は露天風呂がいっぱいあり、ゆっくりと温泉につかり美味しい食事で満足しました。高速道路は八ヶ岳PAで休憩。その後、いつもの渋滞にはまる。藤野PAで最後の休憩をとり、最後の帰路につく。

午後10時30分には厚木に到着しました。今回は予想外の土砂崩れがあり乗鞍岳には行けませんでした。焼岳(百名山)に登ることが出来ました。大変思い深い山行になりました。ありがとうございました。

### ◆補遺

当初計画の乗鞍岳登山は、2日目朝に頂上に一登りしたのち、乗鞍高原まで標高差約1500mをのんびり下る楽々ハイキングのはずだったが、アクセス道路の通行止めという、予想もしていなかったアクシデントに遭遇。女性CLデビューの初戦で、思わぬ試練に立たされて大ピンチに！しかし、このまま帰るわけにいかない。代替えの山にどうしても登りたいので、代替え案を考えるようCLから指令が出た。時はすでに正午過ぎ、今夜の宿を確保できるかどうか勝負だ。そこは、12人の参加メンバのうち、6名が百名山登頂者のベテラン揃い。5分もしないうちに、焼岳登山が決まり、宿泊先も、メンバが過去に何度かお世話になった、焼岳登山口中尾温泉の民宿の女将にすがる、何とか紹介してもらい一件落着。宿が見つからなかった場合は、うちが素泊まりで面倒見ますと言って貰えたときはありがたかった。誰も焼岳の登山地図を持っていないのには困ったが、旅館の壁に額に入れて飾ってあった北アルプス登山地図の一部を無理やりお願いして、焼岳エリアをコピーして貰い、何とか地図を手に入れた。焼岳に登った8/25は、午前中強雨が予想されたので、いつでも撤退できるよう中尾温泉からのピストン登山にせざるを得なかった。天候が悪くなければ、中の湯に抜けるコース設定がベストであったのだが・・・何が何でも代替え山行を実施したいというCLの強い意志と、知識・経験豊富なシニアメンバの英知が融合して、見事なまでのリスクマネージメントを実行できた山行だった。ただし、12年前は頂上から中尾登山口まで3時間で下山できたのに、今回は3時間50分を要した。脚力の衰えは隠しがたしだ。軽いハイキングのはずが、9時間強の本格登山を無事歩きとおし、自信を取り戻したシニアメンバもいたようだ。(MY)